

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

令和2年度～令和6年度(5年間)

【令和3年度進捗状況】

遠賀町

目 次

第4期遠賀町自立推進計画行動計画について	1
第4期遠賀町自立推進計画の体系図	2
第4期遠賀町自立推進計画行動計画	3
推進項目1:財源の確保	3
推進項目2:国・県等の補助金の有効活用	6
推進項目3:歳出経費の効率化	9
推進項目4:公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化	11
推進項目5:社会保障制度及び特別会計の適切な運営	16
推進項目6:事務事業の取捨選択	18
推進項目7:補助金・負担金等の見直し	21
推進項目8:組織機構の見直し	24
推進項目9:職員の育成と意識改革	28
推進項目10:有効な外部委託の推進	30
推進項目11:指定管理者制度の有効活用	31
推進項目12:事務の効率化とICTの活用	32
推進項目13:住民参加型のまちづくり	35
推進項目14:地域コミュニティを核とした安心安全なまちづくり	38
推進項目15:多様な担い手の発掘と支援	40

行動計画における具体的取組の考え方

具体的取組	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6
・ □□□の見直し		●	●	○	→	→
・ △△△の検討		●	●	●	○	→

「□□□」について、R3年度までに見直しの検討を行い、R4年度から見直しを実施する

「△△△」について、R5年度までに実施するかどうかの検討結果を決定する。実施すると

決定した場合は、R5年度以降に検討結果を実施する

第4期遠賀町自立推進計画行動計画について

1. はじめに

本町における行政改革については、第1期遠賀町自立推進計画(計画期間:平成17年度～平成21年度)及び第2期遠賀町自立推進計画(計画期間:平成22年度～平成26年度)により、行財政の健全化を目指した取り組みを効果的かつ計画的に推進してきました。

第3期遠賀町自立推進計画(計画期間:平成27年度～令和元年度)では、限られた行政資源を効率的・効果的に配分しながら行財政運営を行うとともに、人・もの等の資源や財源確保に努め、新しい行政需要や住民サービス向上に資する取り組みを推進してきました。

しかしながら、本町を取り巻く行財政環境は、急速に進む人口減少や少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加や、公共施設等の老朽化などによって、一層厳しくなることが予想されます。

さらに、第4期計画中に駅周辺整備事業による投資的経費が増加するため、財政健全化に向けた取り組みが急務となっており、事業の取捨選択と経費削減が必須の状況であることから、早急に具体的施策を検討・実施する必要があります。

地方創生の時代に、限られた財源の中で多様化する住民ニーズや新たな行政課題への確に対応するには、持続可能な行財政運営に努め、財政基盤を強化し、住民の視点に立った選択と集中による真に必要な行政サービスの向上に努める必要があります。

これまで以上に改革意識を強めながら、行政改革を継続的に行うため、「遠賀町自立推進計画」を補完する「遠賀町自立推進計画行動計画」の取り組みを推進し、遠賀町の目指す将来像を実現します。

2. 計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間



3. 具体的目標

令和4年度以降の決算において、財政調整基金の繰り入れを行わない。

4. 取り組みの進め方

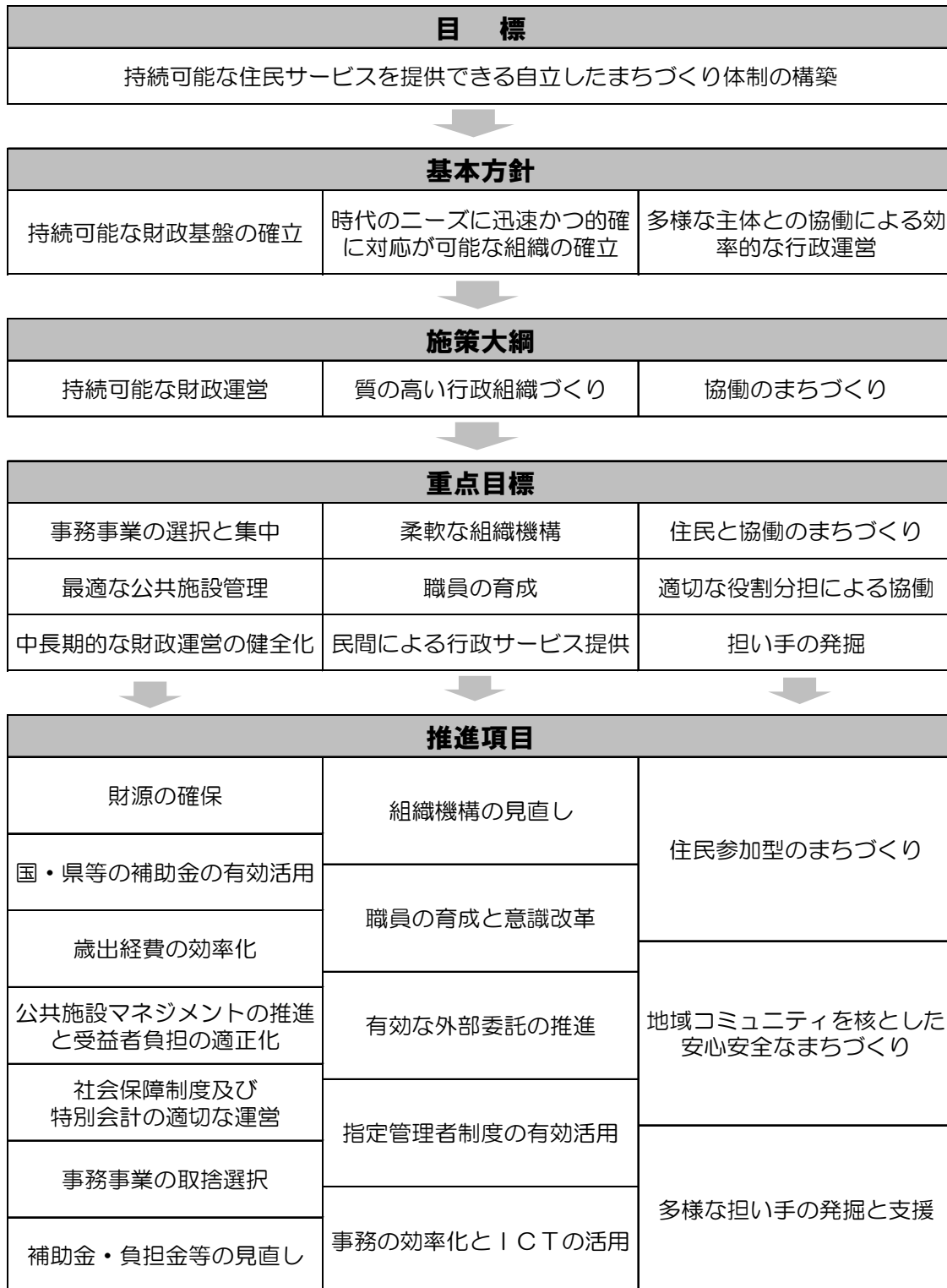
令和2年度第1四半期を目途に、主に事務事業評価対象事業について取捨選択を行います。また、これまでの年1回の検証を行うだけでなく、全庁的な項目や特に重要な取り組みについては、定期的な進捗管理ができる仕組みを構築します。

計画に掲げる推進項目に沿って実施する具体的取組を3ページ以降のとおりとします。また、実施事項や具体的取組は必要に応じて追加するものとします。

5. 進捗管理及び公表

住民代表を含む行政改革推進委員会を設置し、毎年、進捗状況の点検協議を行い、実績等を加えた進捗状況をホームページ等で公表します。

第4期遠賀町自立推進計画の体系図



第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 1 財源の確保

具体的取組	1-1	未利用町有地等の売却や有効活用	重点				
取組内容	財産の有効活用の観点から、未利用地財産の売却や、売却ができない場合は貸付等を行うことにより、自主財源の確保を図る。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 若葉台(元公民館用地)売却	●	○	→	→	→	→	管財係
② 緑ヶ丘町有地の売却又は貸付	●	●	●	○	→	→	管財係
③ ふれあいの里南側用地の売却又は貸付の検討	●	●	●	○	→	→	管財係 福祉高齢者支援係
期待する効果等	歳入の確保						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度	
取組状況	検討●	検討●					
取組実績 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・若葉台用地を分筆して売却整理を実施 ・企業誘致誘発台帳を活用し、購入希望者等に説明を実施 ・町有地の貸付等により有効活用を図った 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致誘発台帳を活用し、売却促進を図った(若葉台・緑ヶ丘は未売却) ・公共事業残地の売払いを隣接者に行った ・町有地の貸付等により有効活用を図った 					
数値実績 または効果	<ul style="list-style-type: none"> ・若葉台未売却 ・購入相談件数:3件 ・貸付額:8,946千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入相談件数:2件 ・売却額:2,330千円 ・貸付額:8,601千円 					
取組状況	検討●	検討●					
取組実績 (内容)	「福祉の里づくり計画」等の精査を行い、普通財産への転換等を検討	引き続き、普通財産への転換等を検討					
数値実績 または効果		・購入相談件数:1件					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目		1 財源の確保						
具体的取組		1-2 企業誘致の推進					重点	
取組内容		土地所有者と企業とのマッチングを行うとともに、金融機関等の関係機関と連携し、企業立地を促進することで雇用や税収の確保を図る。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 民有地への誘致方策の具体的な検討と実施		●	○	→	→	→	担当	商工振興係
期待する効果等		歳入の確保、雇用の場の確保						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	検討●	検討●					
	取組実績 (内容)	遠賀信用金庫・JA北九と民有地における所有者の売却の意向について情報交換を実施	金融機関との情報共有のあり方について検討					
	数値実績 または効果	企業誘致条例適用事業所件数:0件	企業誘致条例適用事業所件数:0件					

具体的取組		1-3 豊かなふるさと遠賀寄附金の充実					重点	
取組内容		豊かなふるさとおんが寄附金の拡大を図り、寄附件数の更なる増加による地域活性化及び歳入増加につなげる。 目標: 令和6年度に寄附額30,000千円						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 町内返礼品の充実		○	→	→	→	→	担当	企画係
② 県認定返礼品の活用		○	→	→	→	→	担当	企画係
③ 体験型返礼品の創設検討		●	●	○	→	→	担当	企画係
期待する効果等		自主財源の確保、地域経済の活性化、町の知名度向上						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
① ②	取組状況	実施○	進捗管理→					
	取組実績 (内容)	返礼品の充実と県認定返礼品を活用実施	返礼品の充実と県認定返礼品を活用実施					
	数値実績 または効果	寄附額: 72,384千円	寄附額: 329,791千円					
③	取組状況		検討●					
	取組実績 (内容)		事業者と協議したが条件面が折り合わず創設を見送った					
	数値実績 または効果							

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 1		財源の確保					
具体的取組	1-4	窓口手数料等の見直し					重点
取組内容	窓口における手数料や減免基準について、近隣市町村の状況も踏まえて見直しが必要か検討する。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
①	窓口発行手数料の見直し検討	●	○	→	→	→	税務課
②	窓口発行減免基準の見直し検討	●	○	→	→	→	税務課 住民係
期待する効果等		自主財源の確保					
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
①	取組状況	検討●	実施○				
	取組実績 (内容)	住宅用家屋証明(専用住宅証明)手数料の見直しを検討	住宅用家屋証明(専用住宅証明)手数料の見直しを検討				
	数値実績 または効果	根拠法令等が現在無く、郡内3町は見直しをしないことを確認したため見送り	検討の結果、見直しを行わないこととした				
②	取組状況	検討●	検討●				
	取組実績 (内容)	減免基準の見直し検討を行ったが、公共施設使用料等の見直しとの関係上保留	新型コロナウイルスの影響を踏まえ、減免基準の見直しについては保留				
	数値実績 または効果						

具体的取組		1-5 クラウドファンディング等新たな財源の検討						重点
取組内容	クラウドファンディング等による財源確保の検討を行う。							
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
①	クラウドファンディング等の検討	●	●	●	○	→	関係課	
期待する効果等		自主財源の確保						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況							
	取組実績 (内容)							
	数値実績 または効果							

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 2 国・県等の補助金の有効活用

具体的取組		2-1 国・県等の補助金等の有効活用(新たな財源確保)					重点
取組内容	新規事業を行う場合は、国・県等の補助金等を検討し、町事業への有効活用を図る。また、新たな補助金等による事業を創設する場合は、既存の類似事業等の見直しや廃止を行う。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 今後、新たな事業を行う場合は、国・県等の補助金等を検討するとともに、あわせて既存の類似事業等の見直しや廃止を行い財源を捻出する。		○	→	→	→	→	関係課
期待する効果等	歳出額の削減						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
① 取組状況	実施○	進捗管理→					
取組実績(内容)	<企画係> 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して感染拡大を防止し、影響を受けている地域経済や住民生活を支援	<企画係> 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して感染拡大を防止し、影響を受けている地域経済や住民生活を支援					
数値実績または効果	交付金:344,836千円(R3へ一部繰越)	交付金:141,758千円(R4へ一部繰越)					
① 取組状況	実施○	進捗管理→					
取組実績(内容)	<環境衛生係> 不法投棄防止パトロール事業に不法投棄未然防止事業助成金を活用	<環境衛生係> 不法投棄防止パトロール事業に不法投棄未然防止事業助成金を活用					
数値実績または効果	助成金:541千円(不法投棄回収量2,890kg)	助成金:507千円(不法投棄回収量2,920kg)					
① 取組状況	実施○						
取組実績(内容)	<子育て支援係> 子ども・子育て支援整備交付金(国)、放課後児童クラブ室施設整備補助金(県)を活用し各学童保育クラブに防犯カメラを設置						
数値実績または効果	補助金等 国:366千円 県:366千円						

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 2 国・県等の補助金の有効活用

	取組状況	実施○	進捗管理→			
①	取組実績 (内容)	<p><都市計画係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの運行及び車両更新で地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用 ・遠賀町に定住することを目的とした人に対し、奨励金を交付するにあたり、社会資本整備総合交付金を活用 	<p><都市計画係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの運行及び車両更新で地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用 <広報係> ・遠賀町に定住することを目的とした人に対し、奨励金を交付するにあたり、社会資本整備総合交付金を活用 			
	数値実績 または効果	<ul style="list-style-type: none"> ・運行経費補助 7,865千円 ・車両更新補助 208千円 (R2～8まで受入) ・奨励金: 7,120千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行経費補助 7,865千円 ・車両更新補助 (R2～9まで受入) 3,676千円(2台分) <広報係> ・奨励金: 5,610千円 			
①	取組状況	実施○	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	<p><建設課></p> <p>国・県等の補助金等の活用を目指して協議。また継続事業の補助金増額を要望</p>	<p><建設課></p> <p>国・県等の補助金等の活用を目指して協議。また継続事業の補助金増額を要望</p>			
	数値実績 または効果	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金(道路、町営住宅、公園) 補助額: 207,851千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金(道路、橋梁、公園) 補助額: 178,433千円 			
①	取組状況	実施○	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	<p><駅周辺都市整備推進室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用し、(仮称)交流センターの基本設計、実施設計、用地買収・移転補償を実施 ・都市構造再編集中支援事業を活用し、駅北広場改修、ペDESTリアンデッキ等建設を実施 	<p><駅周辺都市整備推進室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用し、おんがみらいテラスの用地買収・移転補償および建設工事等を実施 ・都市構造再編集中支援事業を活用し、駅北広場改修、ペDESTリアンデッキ等建設工事を実施 			
	数値実績 または効果	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金: 88,830千円 (R3へ一部繰越) ・補助金: 65,302千円 (R3へ一部繰越) 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金: 252,372千円 (R4へ一部繰越) ・補助金: 147,296千円 			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 2 国・県等の補助金の有効活用

	取組状況	実施○	進捗管理→			
①	取組実績 (内容)	<学校教育係> ・小中校内LAN整備 ・児童生徒用端末等ICT機器の整備 ・ICT機器の活用を図るためGIGAスクールサポーターの配置	<学校教育係> ・個別最適化学びを実現小中学校教育ICT化推進 ・ICT機器の活用を図るためGIGAスクールサポーターの配置 ・学校等における感染対策支援事業			
	数値実績 または効果	・校内LAN整備 24,573千円 ・情報機器整備等 48,473千円 ・端末整備台数 1042台(補助金分)	・個別最適化学びを実現小中学校教育ICT化推進 1,400千円 ・公立学校情報機器整備費(GIGAスクールサポーターの配置)補金 3,069千円 ・学校保健特別対策事業費(学校等における感染対策支援事業) 2,925千円			
①	取組状況	実施○	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	<生涯学習課> おんがレガッタ、スポレクおんが、島津のヤマザクラ環境整備及び観月コンサート代替事業で補助金等の活用を検討し、R3採択決定	<生涯学習課> 観月コンサート代替事業(島津丸山歴史自然公園ヤマザクラライトアップ事業)で、福岡県宿泊税交付金活用 おんがレガッタ【中止】 スポレクおんが【中止】			
	数値実績 または効果	おんがレガッタ1,835千円 スポレクおんが560千円 島津のヤマザクラ環境整備及び観月コンサート代替事業 各500千円	福岡県宿泊税交付金 1,000千円 おんがレガッタ:644千円 スポレクおんが:取り下げ			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 3 歳出経費の効率化

具体的取組		3-1 経費の節減合理化					重点
取組内容	各種職員手当等や事務的経費等について、一層の効率化・合理化のため経費節減の工夫を行い、経費の見直しを図る。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 枠予算制度の検討	●	○	→	→	→	財政係	
② 郵便代の削減(メールの活用検討)	●	○	→	→	→	全課	
③ 各種職員手当の見直し	○	→	→	→	→	人事秘書係	
④ コピー機等事務機器の調達方法の工夫	●	●	○	→	→	庶務法制係 情報推進係	
⑤ 小中学校の事務的経費(需用費等)削減の検討	●	●	○	→	→	学校教育係	
期待する効果等	歳出額の削減						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	検討●	実施○				
	取組実績(内容)	予算編成方針の中で、経費削減の基本的事項を明示し、歳出予算の削減を実施	事務事業評価の総事業費を枠予算として、予算編成後の歳入歳出予算の状況により、事業の削減を図った				
	数値実績または効果	R3当初予算(全会計)基金繰入金: 386,375千円 R2当初: 961,748千円 R2実績: 732,905千円	R4当初予算(全会計)基金繰入金: 435,853千円 R3当初: 386,375千円 R3実績: 136,884千円				
③	取組状況	実施○	進捗管理→				
	取組実績(内容)	地域手当廃止					
	数値実績または効果	削減額: 約13,730千円					
④	取組状況	実施○	進捗管理→				
	取組実績(内容)	番号利用系端末更新にあわせて台数及び仕様等を精査	インターネット系端末調達の際にリース入札を実施				
	数値実績または効果	削減額: 1,281千円	削減額: 299千円				
⑤	取組状況	検討●	実施○				
	取組実績(内容)	ICT機器導入に伴いどのような経費の削減が図れるか検討中	プリンター利用に伴うコピー機使用料(使用枚数)の減				
	数値実績または効果		削減額: 182千円				

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 3 歳出経費の効率化							
具体的取組	3-2	計画的な基金の取り崩し				重点	
取組内容	令和4年度以降は基金(財政調整基金・減債基金)の繰り入れに頼らない予算編成を行う。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 各基金の計画的な運用を図る		●	●	○	→	→	財政係
期待する効果等	歳出額の削減、健全な財政運営						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
取組状況	検討●	実施○					
① 取組実績(内容)	財政調整基金の残高目安を6億円と定め、年度間の財源不足に活用することができたものの、基金の積立額に対して取崩額が多く、基金残高は減少 財政調整基金残高 743,106千円	R3年度の財政措置として交付された普通交付税を減債基金へ積立てを行った。次年度以降、国から示された考え方に基つき、減債基金からの取崩しを行うことにより活用する					
① 数値実績または効果	財政調整基金・減債基金 積立額: 384,297千円 取崩額: 441,745千円	財政調整基金・減債基金 積立額: 116,291千円 取崩額: 0千円					

具体的取組	3-3	地方債の有効活用(歳出の平準化)				重点	
取組内容	起債を実施しても必要な事業か、将来世代に返済を負担してまで実施が必要な事業かを十分精査し、景気の動向、歳入の動向等を踏まえながら判断し、地方債と償還のバランス等の適切な対応を図る。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 真に必要な起債事業の精査		○	→	→	→	→	財政係
期待する効果等	健全な財政運営						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
取組状況	実施○	進捗管理→					
① 取組実績(内容)	中学校体育館指定避難所トイレ改修事業や消防車両整備事業などの緊急防災・減災事業債をはじめ、緊急自然災害防止対策債など、交付税措置の有利な起債を活用し、歳出の平準化を実施	みらいテラス建設事業や防災行政無線整備事業への緊急防災・減災事業債の活用をはじめ、公共施設適正管理推進事業債など、交付税措置の有利な起債を活用し、歳出の平準化を実施					
① 数値実績または効果	普通会計 年度末起債残高: 6,576,835千円 (前年比: △11,862千円)	普通会計 年度末起債残高: 6,675,142千円 (前年比: 98,307千円増)					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 4 公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化

具体的取組	4-1	遠賀町公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づく公共施設の計画管理	重点	★			
取組内容	<p>平成26年度に策定した「遠賀町公共施設等総合管理計画」に沿って、施設の適正配置や統廃合を含めた計画的かつ効率的な管理に取り組み、施設の老朽化による財政負担の軽減及び平準化を図る。また、令和2年度までに策定が義務づけられている「個別施設計画」を策定することにより、個別施設ごとの維持管理・修繕・更新等に係る取組方針や具体的な実施内容、時期等を示し、施設の計画的な管理を行う。</p>						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 個別施設計画の策定と計画的な管理	○	→	→	→	→	→	財政係
② 総合管理計画の見直しと推進体制の構築	●	●	○	→	→	→	財政係
③ 施設及び類似機能の統廃合の検討	●	●	●	○	→	→	企画係
④ 施設の広域利用のあり方検討	●	●	●	●	○	○	企画係
⑤ ふれあい広場トイレの廃止	●	○	→	→	→	→	建設課
⑥ 開発公園用地の売却検討	●	●	●	●	○	○	建設課
⑦ 駅前サービスセンターとぐっぴいをおながみらいテラスへ統合	●	●	●	○	→	→	企画係 商工振興係 子育て支援係
⑧ 起業支援施設のあり方検討	●	○	→	→	→	→	商工振興係
⑨ 食育交流・防災センターの施設利用率向上	●	○	→	→	→	→	食育交流・防災センター係
期待する効果等	計画的な公共施設管理、経費の低廉化・平準化						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度	6年度
①	取組状況	実施○	進捗管理→				
	取組実績 (内容)	施設カルテ更新と各施設の方針をまとめ個別施設計画を策定	施設カルテを更新して、計画見直しの資料に活用				
	数値実績 または効果	全81施設の個別計画策定	国が示す必須項目を追加				
①	取組状況	実施○	進捗管理→				
	取組実績 (内容)	長寿命化計画等による維持補修、改良工事等を行い、長寿命化を図った	長寿命化計画等による維持補修、改良工事等を行い、長寿命化を図った				
	数値実績 または効果	・道路: 17,901千円 ・橋梁: 28,318千円 ・町営住宅: 6,490千円	・道路: 25,219千円 ・橋梁: 45,353千円				
②	取組状況	検討●	実施○				
	取組実績 (内容)	総合管理計画の検討には至らなかった	国の事業を活用して、一部計画の見直しを行った				
	数値実績 または効果		国が示す必須項目を追加				

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 4 公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化

	取組状況	実施○	進捗管理→			
⑤	取組実績 (内容)	地方創生臨時交付金を活用し、既設トイレを撤去後、水洗化トイレを設置(R3へ繰越)	既設トイレ撤去後、水洗化トイレ設置完了			
	数値実績 または効果					
	取組状況	検討●	検討●			
⑦	取組実績 (内容)	(仮称)交流センターの基本設計及び実施設計において検討	<商工振興係> R5からおんがみらいテラスへの駅前サービスセンター機能の移転準備を進めている <子育て支援係> 子育て支援事業に関する仕様書の検討に参画			
	数値実績 または効果					
	取組状況	検討●	検討●			
⑧	取組実績 (内容)	今後の在り方を検討中	今後の在り方を検討中			
	数値実績 または効果					
	取組状況	検討●	検討●			
⑨	取組実績 (内容)	新型コロナのため中央公民館利用ができなくなった方々の一般利用が増加したが、年間利用者数は減少	新型コロナの影響により、有料利用6件がキャンセルとなった。			
	数値実績 または効果	利用人数:455人 有料利用:1件 R1:531人	利用人数:298人 有料利用:3件 R2:455人			
	取組状況	検討●	検討●			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 4 公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化

具体的取組		4-2	効率的な維持管理方法の検討					重点	
取組内容	類似する業務や工事等は一括発注することで、効率的な維持管理を行う。								
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当		
①	草刈業務や施設保守等類似する維持管理業務の一括発注の検討	●	●	○	→	→	関係課		
期待する効果等	経費の低廉化								
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度				
①	取組状況								
	取組実績 (内容)								
	数値実績 または効果								

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 4		公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化						
具体的取組 4-3		公共施設等における受益者負担の適正化					重点	★
取組内容	公共施設等における使用料等について、施設の公共性や収益性を勘案し、施設毎に管理運営コストに対する受益者負担率を設定し、「受益と負担」の原則に基づき、使用料等の適正化を行う。							
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 公共施設使用料等の見直し	●	○	→	→	→		関係課	
② コミバス運賃の見直し	●	○	→	→	→		都市計画係	
③ 給食費の見直し	●	○	→	→	→		食育交流・防災センター係	
④ 減免措置の見直し	●	○	→	→	→		関係課	
期待する効果等	受益者負担の適正化							
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	検討●	実施○					
	取組実績(内容)	公共施設使用料等の見直し方針決定(実施は新型コロナの動向を注視して決定)	<福祉高齢者支援係> ふれあいの里利用料金改定をR4年度から実施 <スポーツ文化係> 総合運動公園の利用料金改定をR4年度から実施 <社会教育係> 中央公民館の使用料改定をR4年度から実施					
	数値実績または効果							
①	取組状況	検討●	実施○					
	取組実績(内容)	<建設課> 町営駐輪場整理料の見直しは実施せず、管理委託料の削減を決定	<建設課> 町営駐輪場整理料の見直しは実施せず、管理委託料の削減を実施					
	数値実績または効果	管理委託料削減額 726千円(R3~)	管理委託料削減額 726千円					
②	取組状況	検討●	検討●					
	取組実績(内容)	運賃見直し案検討(新型コロナの状況を踏まえて判断)	運賃見直し案検討(新型コロナの状況を踏まえて判断)					
	数値実績または効果	今後、バス対策協議会及び地域公共交通会議で協議を行い、新型コロナの状況を踏まえ判断	新型コロナ感染拡大により、検討継続中					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 4 公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化

③	取組状況	検討●	検討●			
	取組実績 (内容)	近隣町の給食費改定状況を把握。R4に給食費改定予定	10月の学校給食運営委員会にてR4年度4月からの給食費改定を決定。			
	数値実績 または効果	学校給食運営委員会が新型コロナの影響で書面開催となったため、説明を検討中	小学校:4,300円/月(+200) 中学校:5,100円/月(+300)			
④	取組状況	検討●	実施○			
	取組実績 (内容)	減免措置の状況調査を実施	<福祉高齢者支援係> <スポーツ文化係> <中央公民館> R3年度に全庁的な利用料金・使用料見直しに合わせて対象団体を整理			
	数値実績 または効果					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 5 社会保障制度及び特別会計の適切な運営

具体的取組		5-1 特別会計における受益者負担の適正化					重点	★
取組内容	国民健康保険事業特別会計、下水道事業会計における受益者負担を見直し、一般会計からの繰出金を抑制する。							
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 国保税率の見直し		○	→	○	→	○	国保年金係 課税係	
② 下水道使用料の見直しの検討		●	○	→	→	●	下水道管理係	
③ 農業集落排水施設の公共下水道への統合による経営効率向上 (R6に老良地区の統合実施設計、R7に統合実施)		●	●	●	●	●	下水道管理係	
期待する効果等	一般会計からの繰出金の抑制							
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
取組状況	実施○	検討●						
取組実績 (内容)	国保税率改正実施	国保運営協議会において国保税率改正の協議を実施						
① 数値実績 または効果	新型コロナの影響により、医療費は下がったが、減免等の取り組みを実施したので、税率改正の効果は不明	国保運営協議会を5回開催し、国保財政運営健全化計画に基づき、税率改正について協議を実施						
取組状況	検討●	検討●						
取組実績 (内容)	H25下水道使用料改定後の事後検証を行い、今後(R11まで)の財政計画を作成	下水道使用料改定については、新型コロナの状況を踏まえて判断						
数値実績 または効果	下水道使用料の見直しは、新型コロナの状況を踏まえて判断	新型コロナ感染症拡大により検討を継続						
取組状況	検討●	検討●						
取組実績 (内容)		農業集落排水施設の公共下水道接続のための広域化全体設計を実施						
数値実績 または効果		接続ルートを設定し、施設能力の算定を行った						

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 5		社会保障制度及び特別会計の適切な運営						
具体的取組 5-2		医療費の適正化と住民の健康維持増進				重点	★	
取組内容		増大する医療費、介護費を抑制するため、健康づくり事業を推進する。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① がん検診自己負担の見直し		●	●	●	○	→		健康対策係
② 健康教室への参加者増		●	○	→	→	→		健康対策係 地域包括支援係
期待する効果等		扶助費の削減						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	検討●	実施○					
	取組実績(内容)	2年度から5年度にかけて胃がん検診と肺がん検診委託料が徐々に値上げとなるため、自己負担を引き上げるよう検討した	胃がん検診の自己負担額を500円から1000円に引き上げ					
	数値実績または効果		胃がん検診委託料6105円から7645円の値上げに伴い、自己負担額を500円から1000円に引き上げた効果額:332千円					
②	取組状況	検討●	実施○					
	取組実績(内容)	<健康対策係> ・健診後の相談会や訪問等で案内 ・健康づくりポイント事業として位置づけ	<健康対策係> ・健診後の相談会や訪問等で案内 ・健康づくりポイント事業として位置づけ					
	数値実績または効果	新型コロナの影響で一時期中止したため参加者は減少 参加人数:138人 R1実績:617人	新型コロナの影響で一時期中止したため参加者は例年(コロナ前)より減少 参加人数:147人 R2実績:138人					
②	取組状況	検討●	検討●					
	取組実績(内容)	<地域包括支援係> 悠々ひろば(運動教室)は健康寿命の延伸のため転倒予防に重点をおいて月2回委託実施	<地域包括支援係> 教室参加による効果や現状の身体機能に参加者自ら把握できることを目的に、R4年度からの身体機能測定を計画し実施に備えた					
	数値実績または効果	新型コロナの影響で一時期中止したため参加者は減少 参加人数:109人 R1実績:543人	新型コロナの影響で一時期中止したため参加者数は横ばい。 参加延人数:128人 R2実績:109人					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 6 事務事業の取捨選択

具体的取組		6-1 事務事業評価による事務事業の適正化					重点	★
取組内容		事務事業評価による事業の効率化・効果等の検証を的確に行い、優先事務事業の選定、予算配分の適正化を図る。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 事務事業評価対象事業の取捨選択		○	→	→	→	→		企画係
② 事務事業評価の進め方見直し		○	→	→	→	→		企画係
期待する効果等		健全な財政運営						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
取組状況		実施○	進捗管理→					
① ②	取組実績 (内容)	取捨選択方針を決定し、事務事業評価を実施	取捨選択方針を決定し、事務事業評価を実施					
	数値実績 または効果	評価結果 継続:56 改善:24 見直し等:16	評価結果 継続:59 改善:22 見直し等:10					

具体的取組		6-2 イベントの統廃合の検討					重点	
取組内容		現在、実施しているイベントの費用対効果を分析し、住民負担も考慮し、統廃合の検討を行う。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 実施しているイベントの必要性検証		●	○	→	→	→		関係課
② 既存イベントの統廃合検討		●	●	○	→	→		関係課
③ 駅南開発を見据えた夏まつりのあり方検討		●	●	●	●	●		商工振興係
期待する効果等		事務の効率化、住民サービスの向上						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
取組状況		検討●	実施○					
① ②	取組実績 (内容)	「実施しているイベントの必要性検証」及び「イベントの統廃合の検討」の方針を検討	<福祉高齢者支援係> 健康・福祉まつりはR4年度以降、社会福祉協議会および指定管理者への委託事業として開催するよう協議実施					
	数値実績 または効果		削減額343千円					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 6 事務事業の取捨選択

① ②	取組状況	検討●	実施○			
	取組実績 (内容)	「実施しているイベントの必要性検証」及び「イベントの統廃合の検討」の方針を検討	＜スポーツ文化係＞ 全庁的なイベント事業の見直しにより、スポレクおんがを廃止した			
	数値実績 または効果		削減額650千円			
① ②	取組状況	検討●	実施○			
	取組実績 (内容)	「実施しているイベントの必要性検証」及び「イベントの統廃合の検討」の方針を検討	＜社会教育係＞ 全庁的なイベント事業の見直しにより、3事業を廃止した			
	数値実績 または効果		7事業中、廃止3、縮小3、存続1 削減額625千円			
① ② ③	取組状況	検討●	検討●			
	取組実績 (内容)	「実施しているイベントの必要性検証」及び「イベントの統廃合の検討」の方針を検討	＜商工振興係＞ 駅南開発の進捗状況に合わせた夏まつりのあり方を検討			
	数値実績 または効果					

具体的取組 6-3 大規模事業における事業費等の適正化 重点 ★

取組内容	駅周辺整備事業において、ランニングコストも含めた適正な仕様や整備のあり方の検討を行い、事業費の適正化を行う。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 駅前広場、駅ペDESTリアンデッキ、おんがみらいテラスにおけるグレードや整備のあり方の検討。	○	→	→	→	→		事業係 企画係
期待する効果等	健全な財政運営						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
取組状況	実施○	進捗管理→					
取組実績 (内容)	おんがみらいテラスの実施設計で建物の仕様、備品及び駐車場の整備内容が過剰とならないよう検討。また、設計、什器選定及び運営手法の検討等で、指定管理観点の意見を取り入れ、ランニングコストの削減を実施	おんがみらいテラスの什器選定及び運営手法の検討等で、指定管理観点の意見を取り入れ、ランニングコストの削減を実施するとともに、R4遊具整備で自治総合センターの共生の地域づくり助成事業の採択を受けた					
数値実績 または効果	減額リストによる建設費削減額 93,973千円	採択額10,000千円					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 6 事務事業の取捨選択

具体的取組		6-4 情報発信方法の検討					重点
取組内容	広報おんがのリニューアル(発行回数や内容の見直し検討)を行う。また、シティプロモーション戦略に基づき、効率的な情報集約・発信体制を構築するとともに、効果的なSNSの活用による戦略的な情報発信を行う。(情報集約・発信体制の構築と戦略的な情報発信については、総合戦略で検証を行う)						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 広報おんがのリニューアル		●	○	→	→	→	広報係
期待する効果等	シビックプライドの醸成、移住定住の促進						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
取組状況	実施○	実施○					
① 取組実績(内容)	・広報おんがR3からのリニューアル内容を検討、実施を決定 ・SNSによる情報発信を継続実施	・広報おんがリニューアル後、読者の意見を元にレイアウト等の修正を実施 ・各担当部署からの迅速な情報発信を実現するため、ホームページ更新システム(CMS)を導入 ・SNSによる情報発信を継続実施					
数値実績または効果	・固定掲載枠数 10→12枠(R3～) ・広告収入1,110千円 ・SNS投稿数:338件/年	・掲載枠数12枠/号 ・広告収入1,397千円 ・SNS投稿数:329件/年					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 7 補助金・負担金等の見直し

具体的取組	7-1	各種団体への補助金等の定期的な見直しと負担金の適正化	重点	★			
取組内容	各種団体等に対する補助金については、社会経済情勢や住民ニーズの変化を的確に捉えながら、施策・事業への効果や民間の役割等を検証し、定期的に見直すこととし、適正な運用の確保を図る。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 商工会補助金の見直し	●	○	→	→	→	→	商工振興係
② 社協補助金の見直し	●	○	→	→	→	→	福祉高齢者支援係
③ 敬老会補助金の見直し	●	○	→	→	→	→	福祉高齢者支援係
④ シルバー補助金の見直し	●	○	→	→	→	→	福祉高齢者支援係
⑤ いきいきデイサービスの委託先見直し検討	●	●	○	→	→	→	地域包括支援係
⑥ 保育園補助金の見直し	●	○	→	→	→	→	子育て支援係
⑦ がんばる地域まちづくり事業のあり方検討(13-3再掲)	●	●	○	→	→	→	協働人権係
⑧ 優良品種種子更新事業費補助金の見直し	●	○	→	→	→	→	農業推進係
⑨ 遠賀町立中学校大会出場費補助金の見直し	○	→	→	→	→	→	学校教育係
⑩ その他補助金・交付金の削減の検討	●	●	●	●	○	○	関係課
期待する効果等	経費の削減、健全な財政運営						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度	
①	取組状況	検討●	実施○				
	取組実績 (内容)	健康維持支援事業補助金について、R3からの廃止を決定	健康維持支援事業補助金を廃止した。				
	数値実績 または効果		削減額357千円				
②	取組状況	検討●	実施○				
	取組実績 (内容)	運営費補助および各種事業委託金の見直しを実施	運営費補助および各種事業委託金の精査実施				
	数値実績 または効果	対前年△2,136千円	対前年△5,964千円 返還額4,588千円				
③	取組状況	検討●	実施○				
	取組実績 (内容)	R4以降の開催方法等について自治区長会に提示しR3に協議	敬老会補助金廃止。R4年度から区事務交付金へ高齢者加算とするとともに、単価を段階的に削減していく				
	数値実績 または効果		対前年△752,800円 R3 2,800円/人から R7年度以降 2,000円/人まで毎年200円/人ずつを減額予定				

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 7 補助金・負担金等の見直し

④	取組状況	検討●	実施○			
	取組実績 (内容)	事業収益において2年連続で黒字が出た場合は、補助金を返還する旨協議済み	人件費剰余分につき返還			
	数値実績 または効果	返還額1,450千円	返還額1,150千円			
⑤	取組状況	実施○	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	デイサービスの内容や会場の条件等を踏まえ、委託先検討				
	数値実績 または効果	現在の社会福祉協議会への委託が適当であると判断				
⑥	取組状況	実施○	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	保育園及び幼稚園に対する補助金の見直しを実施(R3から適用)	保育園および幼稚園に対する補助金の一本化、内容の精査、手続きの一本化を実施			
	数値実績 または効果	施設整備、施設管理等補助率70%以内→50%以内へ変更	施設整備補助金の対象事業の精査を行った			
⑦	取組状況	検討●	実施○			
	取組実績 (内容)	限りある財源で最大限の効果が得られるよう、今後のあり方(補助率や採点方法の見直し等)を検討	新たに要綱を制定した。補助上限額、採点方法の見直しのほか、行政提案型事業を創設した			
	数値実績 または効果	実施事業:1件 要綱の見直し:R3 改正後の要綱で事業実施:R4	実施事業:0件(中止1件) 要綱の見直し:R3 改正後の要綱で事業実施:R4			
⑧	取組状況	検討●	検討●			
	取組実績 (内容)	水稻優良品種種子更新事業費補助金の見直し方針を決定し、農業者や関係機関に周知	水稻優良品種種子更新事業費補助金の見直し方針実施に向けて、次年度予算への反映など準備			
	数値実績 または効果	R4から見直しを開始	R4から見直しを開始			
⑨	取組状況	実施○	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	町内の移動にかかる交通費を補助対象経費から除外	町内の移動にかかる交通費を補助対象経費から除外			
	数値実績 または効果	削減額:46千円	削減額:163千円			
⑩	取組状況		検討●			
	取組実績 (内容)		<農業推進係> 遠賀町認定・志向農業者連絡協議会補助金の見直し検討			
	数値実績 または効果		R5から見直しを開始			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 7 補助金・負担金等の見直し

具体的取組		7-2 委託料等の定期的な見直し					重点
取組内容	毎年度、事業の有効性・費用対効果・継続性等の視点で必要性の検証を行い、必要に応じ見直しを図る。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 駅南駐車場の管理委託方法の見直し	○	→	→	→	→	管財係	
② 新町駐車場の管理委託方法の見直し	●	○	→	→	→	建設課	
③ 委託内容の見直し(草刈と防草シートとの比較検討など)	●	○	→	→	→	管財係 関係課	
期待する効果等	経費の削減、事務の効率化、住民サービスの向上						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	実施○	進捗管理→				
	取組実績(内容)	駅南駐車場の管理委託を機械化	駅南駐車場の管理委託の機械化完全実施				
	数値実績または効果	削減額:2,363千円	削減額:269千円				
②	取組状況	検討●	実施○				
	取組実績(内容)	新町駐車場の一時利用廃止を検討	新町駐車場の一時利用廃止				
	数値実績または効果	委託料削減額 3,283千円(R3~)	委託料削減額 2,833千円				
③	取組状況	実施○	見直し→				
	取組実績(内容)	<管財係> 草刈り、防草シート、舗装、薬剤で単価比較表を作成	<管財係> 除草の方法、範囲の見直しによる委託料削減の検討 <社会教育係> 草刈り、防草シート、薬剤で比較し、最も安価な薬剤管理とした(R04から)				
	数値実績または効果	<管財係、建設課、学校教育係> 草取り、防草シートのコスト比較検討・実施	<管財係> 各対象土地に最も適した管理方法の検討・実施				

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 8 組織機構の見直し

具体的取組		8-1 定員管理・適正化計画の推進					重点	
取組内容	平成19年度に策定した遠賀町定員管理・適正化計画の推進と見直しを行い、再任用制度や会計年度任用職員制度を活用し、業務量と職員数のバランスを勘案しながら、計画に沿った定員管理の適正化を図る。							
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 定数管理・適正化計画の定期的な見直し	○	→	→	→	→		人事秘書係	
② 計画に基づく職員数と総人件費の適正化	○	→	→	→	→		人事秘書係	
期待する効果等	効率的な組織づくり							
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	実施○	進捗管理→					
	取組実績 (内容)	・定員管理・適正化計画の見直しを実施 ・職員定数条例の見直しを実施						
	数値実績 または効果	・定員R2の130名に対し、R7時点で130名に維持 ・定数133名から141名へ見直し						
②	取組状況		実施○					
	取組実績 (内容)		一般職の任期付職員の採用等に関する条例に基づき、専門的な知識経験を有する人材などの確保を行った					
	数値実績 または効果		専門的任期付職員;7人 一般任期付職員;3人 任期付短時間勤務職員;1人					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 8		組織機構の見直し					
具体的取組		8-2 柔軟な組織機構の見直し					重点
取組内容	新たな行政課題を確実に解決するとともに、多様化する住民ニーズに対応するため、住民の視点に立った分かりやすい、利用しやすい組織機構へ見直しする。限られた職員で効率的な業務執行が可能かつ時代の変化に柔軟に対応できる組織機構への改革を継続して行う。また、令和5年度から(仮称)交流センターがオープンするため、準備に向けた機構の見直しをあわせて行う。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 機構改革の実施		●	○	→	→	→	企画係
期待する効果等	効率的な組織づくり						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	検討●	実施○				
	取組実績(内容)	事務改善委員会等で機構改革を検討し、R3年4月から実施	R3年4月に機構改革を実施				
	数値実績または効果	15課室34係で改革(改革前14課室34係)	15課室34係で改革(改革前14課室34係)				

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 8 組織機構の見直し

具体的取組		8-3 働き方改革の推進					重点	★
取組内容	長時間労働の是正と、多様で柔軟な働き方を実現するため、業務のあり方や進め方を見直す。また、特定事業主行動計画の見直しを行い、全ての職員がいきいきと働き、ワークライフバランスが実現できる職場となることを実現する。							
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 特定事業主行動計画の見直し	○	→	→	→	→		人事秘書係	
② ノー残業デーの回数増検討	●	○	→	→	→		人事秘書係	
③ 研修回数・時間・内容の見直し	●	○	→	→	→		総務課・福祉課 関係課	
④ ワーキングのあり方見直し	●	○	→	→	→		関係課	
⑤ 業務量の削減(事業の廃止・見直し)	●	○	→	→	→		全課	
⑥ 仕事の進め方改革、徹底的な無駄の排除	●	○	→	→	→		全課	
⑦ 働き方改革を通じた組織づくり	●	○	→	→	→		全課	
⑧ 時間外の削減実施	●	○	→	→	→		全課	
期待する効果等	効率的な組織づくり							
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
① 取組状況	検討●	実施○						
取組実績(内容)	特定事業主行動計画の見直しを検討	特定事業主行動計画の見直しを行った						
数値実績または効果	推進委員会を開催。計画の概要、見直しスケジュールの説明を行い、アンケートの意見聴取を実施	全職員向けにアンケート調査を行い、集約、分析を行った。第2回推進委員会を開催し、アンケート結果及び現状の課題に基づいた計画の素案を説明し、意見聴取を複数回行い、効果的に見直しを行った						
② 取組状況	検討●	進捗管理→						
取組実績(内容)	回数の増について検討	毎月第3水曜日に全職員にノー残業デーの通知を行った						
数値実績または効果	回数の増について検討したが、月1回の現状維持とした	ワークライフバランスの重要性を認識してもらうことができた						
③ 取組状況	実施○	進捗管理→						
取組実績(内容)	<人事係> コロナ禍における研修内容の縮減や時間の短縮を実施	<人事秘書係> コロナ禍における研修内容や研修時間の見直しを実施						
数値実績または効果	庁内研修を新型コロナの観点から期間の短縮や内容を縮減して実施	庁内研修を新型コロナ感染防止の観点から研修内容を見直し、時間を縮減して実施						

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 8 組織機構の見直し						
④	取組状況	検討●	実施○			
	取組実績 (内容)	<高齢者支援係> 地域福祉計画推進 ワーキングの実施回 数、開催方法の検討	<福祉高齢者支援係> 地域福祉計画推進 ワーキングの対面会 議の回数削減。各種 確認依頼については、 庁内メールにて 実施			
	数値実績 または効果		対面会議実施 2回 メール依頼実施2回			
④	取組状況	検討●	実施○			
	取組実績 (内容)	<社会教育係> 生涯学習まちづくり実 施計画ワーキングを 該当する課のみのメ ンバー構成で検討	<社会教育係> コロナ禍により生涯 学習まちづくり実施計 画ワーキングについ ては庁舎内メールに より実施			
	数値実績 または効果		実施回数:2回			
⑤ ⑥	取組状況	検討●	検討●			
	取組実績 (内容)	<人事係> 「業務のあり方や進 め方」の見直しに関 する通知を職員へ発 出	<人事秘書係> 「業務のあり方や進 め方」の見直しに関 する通知を職員へ発 出			
	数値実績 または効果					
⑦ ⑧	取組状況	実施○	実施○			
	取組実績 (内容)	<人事係> ノー残業デーやイク ボス宣言の取り組み と共に、ワークライフ バランスの観点から 時間外勤務の削減を 目指したが、新型コ ロナ対策のため増加	<人事秘書係> ノー残業デーやイク ボス宣言の取り組み と共に、ワークライフ バランスの観点から 時間外勤務の縮減を 全庁的課題として取 り組んだ			
	数値実績 または効果	削減時間:△5.1H/人 (週休日除外△7.8H/ 人) 削減額:△3,486千円	・全体の時間外勤務 縮減時間:-25.0H/人 (-33.3H/人)[対前年 度比] ※()は週休日除外 ・全体の時間外手当 削減額:-12,117千円 [対前年度比] ワクチン集団接種業 務の遂行に伴い、大 幅な増となった。			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 9 職員の育成と意識改革

具体的取組		9-1 人材育成基本方針の推進					重点
取組内容	遠賀町人材育成基本方針について、職員の意欲と能力を最大限に引き出すための組織的な取り組みをトータル的な視点から見直すとともに、人材育成基本方針の推進に努める。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 企画・立案能力とマネジメント力向上		●	○	→	→	→	人事秘書係
② 職域拡大の推進 (これまで男女の配置が無かった部署への登用)		●	○	→	→	→	人事秘書係
③ 福岡県市町村職員研修所等の外部研修の活用 (個人能力向上)		○	→	→	→	→	人事秘書係
④ 育成指導による成長していく職場風土づくり(組織力向上)		○	→	→	→	→	人事秘書係
⑤ 災害時対応等の研修・訓練の実施		○	→	→	→	→	防災安全係
期待する効果等	職員の意欲及び能力の向上						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	実施○	進捗管理→				
	取組実績 (内容)	北九州市主催の企画立案研修へ参加	北九州市主催の企画立案研修へ参加				
	数値実績 または効果	参加者数:1名	参加者数:1名				
②	取組状況	検討●	検討●				
	取組実績 (内容)	女性が1人しかいない課の女性職員にアンケートを実施し、意見聴取を実施	人事異動への反映は今年度は困難であった				
	数値実績 または効果	2名から意見聴取し、職域拡大を検討					
③	取組状況	実施○	進捗管理→				
	取組実績 (内容)	・県市町村職員研修所 ・NOMA ・県建設技術情報センター ・防災関係研修	・県市町村職員研修所 ・NOMA ・県建設技術情報センター				
	数値実績 または効果	・27名 ・2名 ・3名 ・1名	・52名 ・7名 ・8名				
④	取組状況	実施○	進捗管理→				
	取組実績 (内容)	メンター制度の活用により、新規採用職員等が成長しやすい土台を構築	メンター制度の活用により、新規採用職員等が成長しやすい土台を構築				
	数値実績 または効果	対象新規採用職員:3名	対象新規採用職員:4名				

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 9 職員の育成と意識改革

⑤	取組状況	実施○	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	職員への防災士資格取得を推進	職員への防災士資格取得を推進 ・災害援助班を中心に避難所開設訓練を実施			
	数値実績 または効果	資格取得者: 4名	・資格取得者: 7名 ・参加者: 53名			

具体的取組 9-2 人材育成基本方針を反映した人事評価制度の推進

重点

取組内容	職員の業務能力向上のため、職員の能力・実績等を適正に評価し、公正な人事管理を適正に行う人事評価制度を推進し、職員の資質の向上に努める。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 人事評価制度の推進		○	→	→	→	→	人事秘書係
期待する効果等	職員の意欲及び能力の向上						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	実施○	進捗管理→				
	取組実績 (内容)	人事評価制度の研修を3回実施	人事評価制度の研修を6回実施				
	数値実績 または効果	研修参加者数: 34名	研修参加者数: 126名				

具体的取組 9-3 多様な人材の活用

重点

取組内容	人材不足が深刻な状況を迎えることが予測されるため、多様な人材の活用を行うことで町政を運営する。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 能力のある中途採用の実施検討		●	●	○	→	→	人事秘書係
② 定年延長引き上げに係る制度の検討		●	●	○	→	→	人事秘書係
期待する効果等	職員の意欲及び能力の向上						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
②	取組状況	検討●	検討●				
	取組実績 (内容)	国に準じて制度を検討するため、情報を収集	国に準じて制度を検討するため、情報を収集				
	数値実績 または効果	R4からの制度変更に合わせて準備を実施	R4からの制度変更に合わせて準備を実施				

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 10 有効な外部委託の推進

具体的取組	10-1	入札・契約マニュアルの作成		重点			
取組内容	入札・契約にかかるマニュアルを作成し、入札・契約における透明性の向上と事務の効率化・平準化を図る。 検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→						
		R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 入札・契約にかかるマニュアルの作成		○	→	→	→	→	管財係
期待する効果等	公平性・透明性の確保						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
取組状況	実施○	進捗管理→					
① 取組実績 (内容)	工事契約(100万円超)について事務取扱要領の作成 委託・物品調達マニュアルをR3までに策定予定	・工事契約(100万円超)事務取扱要領の運用 ・他自治体の委託・物品調達マニュアルの情報収集					
数値実績 または効果	職員へ要領作成を周知	職員へ要領に沿った契約事務の助言・指導					

具体的取組	10-2	民間委託の推進		重点			
取組内容	組織を肥大化することなく時代の変化に対応した良質な行政サービスを提供するため、現在、直営や一部委託で行っている業務の民間委託について、費用対効果・安全性・公共性等の総合的な検討を行い、「住民サービスの維持・向上」を前提にした民間委託を推進する。 検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→						
		R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 定型業務及び一部窓口業務の民間委託検討		●	●	●	●	○	企画係
② 学校水泳授業の民間施設での実施検討		●	●	●	●	○	学校教育係
期待する効果等	民間活力の活用、経費節減						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
取組状況	検討●	検討●					
② 取組実績 (内容)	・近隣自治体の情報収集を実施 ・町内のスイミングクラブと意見交換を実施	・近隣自治体の情報収集を実施 ・町内のスイミングクラブと意見交換を実施					
数値実績 または効果							

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 11 指定管理者制度の有効活用

具体的取組		11-1 指定管理者制度の導入					重点	
取組内容	費用対効果を考慮したうえで、民間で実施した方が経費面、サービス面とも効率的・効果的な事務事業について、指定管理者制度の検討・導入を行う。							
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① おんがみらいテラスへの導入検討	●	●	○	→	→		企画係	
② 学童保育への導入検討	●	●	●	●	○		子育て支援係	
期待する効果等	住民サービスの向上、適切な施設管理の推進							
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	検討●	検討●					
	取組実績(内容)	導入へ向けて仕様書の作成に着手	導入へ向けて指定管理者選定審査会を開催					
	数値実績または効果		R3開催回数:1回					

具体的取組		11-2 指定管理者制度モニタリングの運用					重点	
取組内容	指定管理者制度を導入した施設について、指定管理者による施設管理の適正を期するため、町が求める達成水準を満たされているかなど、継続的に客観的な評価・検証を行う。							
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① モニタリングの実施による運営管理	○	→	→	→	→		企画係	
期待する効果等	住民サービスの向上、適切な施設管理の推進							
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	実施○	進捗管理→					
	取組実績(内容)	ガイドラインに基づき評価・検証を実施	ガイドラインに基づき評価・検証を実施					
	数値実績または効果	R1評価 図書館:79点 ふれあいの里:75点 総合運動公園:90点	R2評価 図書館:91点 ふれあいの里:84点 総合運動公園:94点					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 12 事務の効率化とICTの活用

具体的取組		12-1 事務の効率化・簡素化及び集約化					重点
取組内容	コスト意識を徹底し、事務の効率化等を行うことにより経費節減を図るとともに、働き方改革にも繋げる。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 各種計画書の集約・簡素化・見直し必要性の検討	●	●	○	→	→		関係課
② システム等事務の広域連携の検討	●	●	●	●	○		情報推進係
③ 事務センターの設置検討	●	●	●	○	→		企画係
④ 電子決裁の導入検討	●	●	●	●	○		庶務法制係
⑤ 窓口手続きの簡略化	●	○	→	→	→		関係課
期待する効果等	経費の節減、住民サービスの向上、事務の効率化						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	実施○					
	取組実績 (内容)	<社会教育係> 生涯学習まちづくり基本構想・基本計画・実施計画について、自前で作成することで委託料を削減し、さらに基本計画を廃止するとともに、記載内容を簡略化するように努めた					
	数値実績 または効果						
⑤	取組状況	検討●	検討●				
	取組実績 (内容)	<企画政策課> 「ワンストップ窓口」など先進自治体の情報収集を実施	<企画政策課> 先進自治体の情報収集を実施し、専門部会設置に向けて検討を行った				
	数値実績 または効果						

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 12 事務の効率化とICTの活用

具体的取組		12-2 マイナンバー制度の活用					重点
取組内容	マイナンバーカードの活用により、住民サービスの向上と事務の効率化を図る。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
①	マイナンバーカードを活用した住民サービスの検討	●	●	●	○	→	情報推進係 商工振興係 関係課
②	マイナンバーカード取得率向上の具体的方策検討	○	→	→	→	→	住民係
③	コンビニ交付の推進	○	→	→	→	→	住民係
期待する効果等	住民サービスの向上、事務の効率化						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
取組状況	進捗管理→	進捗管理→					
取組実績 (内容)	＜建設課＞ 町営住宅入居時や収入申告時にマイナンバーの届出をすることにより、所得証明書の提出が不要	＜建設課＞ 町営住宅入居時や収入申告時にマイナンバーの届出をすることにより、所得証明書の提出が不要					
数値実績 または効果	H29より実施 収入申告対象者約100世帯分の所得証明書が毎年省略	H29より実施 収入申告対象者約100世帯分の所得証明書が毎年省略					
取組状況	検討●	実施○					
取組実績 (内容)	＜商工振興係＞ マイナンバーカードを活用したプレミアム付き商品券事業について情報収集して検討	＜商工振興係＞ マイナンバーカードを活用しないキャッシュレスのプレミアム付き商品券事業を実施した					
数値実績 または効果							
取組状況	実施○	進捗管理→					
取組実績 (内容)	国の消費活性化策やカードを健康保険証として利用できることなど広報に掲載	介護保険被保険者証交付時や成人式にてチラシを配布し、取得率向上に努めた。また、窓口でのマイナンバーカードの案内と併せてコンビニ交付の案内も実施					
数値実績 または効果	②交付枚数:2,178枚 (前年度:568件) ③コンビニ交付:315件 (前年度:141件)	②交付枚数:2,832枚 ③コンビニ交付:677件					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 12 事務の効率化とICTの活用							
具体的取組	12-3	新技術の導入検討	重点				
取組内容	既存システムの運用を効果的なものとするとともに、RPA・AI等の新たな技術の導入を検討し、住民サービスの向上と事務の効率化を図る。 ※RPA: ロボットによる業務自動化 (Robotics Process Automation) ※AI: 人工知能 (Artificial Intelligence)						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① RPA・AI導入の検討		●	●	●	●	○	企画係
② 窓口申請システム化の検討		●	●	●	●	○	住民係 税務課
期待する効果等	住民サービスの向上、事務の効率化						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
取組状況	検討●	検討●					
① 取組実績 (内容)	<税務課> 新型コロナの影響により、展示会等に不参加	<企画政策課> 検討会議を設置し、RPA及びAIチャットボット等の研修会を実施					
数値実績または効果		RPA研修会: 1回 AIチャットボット研修会: 1回					
取組状況		検討●					
② 取組実績 (内容)		<企画政策課> 先進自治体の情報収集を実施し、専門部会設置に向けて検討を行った <住民係> LINEを活用した窓口申請システム説明会等に参加し情報収集を行った <税務課> 新型コロナの影響により、展示会等に不参加。自治体システムの統一・標準化の中で今後検討					
数値実績または効果							

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 13 住民参加型のまちづくり

具体的取組		13-1 パブリックコメント制度の推進					重点	
取組内容	各種計画策定において、素案の段階から広く住民の声を聴き、協働のまちづくりを推進するため、パブリックコメントを実施しているが、統一的な基準や様式がないため、ガイドラインを策定する。							
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① パブコメガイドラインの策定		●	○	→	→	→	企画係	
期待する効果等	計画への住民参画、透明性ある行政運営							
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	検討●	実施○					
	取組実績(内容)	パブリックコメント手続きのガイドラインを策定	ガイドラインに基づきパブリックコメントを実施した					
	数値実績または効果	R3から運用開始	実施件数: 4件					

具体的取組		13-2 各種審議会等委員の充実と統廃合					重点	
取組内容	各種審議会、委員会等は住民の参画を得て広く住民の意見が反映される体制づくりが重要であるため、女性委員の割合や年齢構成等のバランスのとれた審議会等の構成とする。また、複数の委員を重複しないなど、多くの住民が行政に参画できる機会をつくとともに、推薦団体の負担軽減を図る。							
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 委員構成の見直しと類似審議会の統廃合		●	●	○	→	→	関係課	
期待する効果等	町政への住民参画機会の拡充、推薦団体の負担軽減							
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	実施○	進捗管理→					
	取組実績(内容)	〈福祉人権係〉 ・女性の積極的登用を全職員に周知 ・子育て中の方が安心して参画できるよう、未就学児の無料託児実施	〈協働人権係〉 ・女性の積極的登用を全職員に周知 ・子育て中の方が安心して参画できるよう、未就学児の無料託児実施					
	数値実績または効果	・審議会等委員の女性割合: 38.0%(県内6位) ・託児実績: 0件	・審議会等委員の女性割合: 38.2%(県内12位) ・託児実績: 1件					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 13 住民参加型のまちづくり						
	取組状況	検討●	実施○			
①	取組実績 (内容)	<高齢者支援係> あんしん地域づくり協議会の次期委員数を2名削減	<福祉高齢者支援係> あんしん地域づくり協議会の委員数を2名削減			
	数値実績 または効果		11名→9名 民児協、町老連からの委員各1名減			
①	取組状況		実施○			
	取組実績 (内容)		<農業推進係> ・遠賀町農業振興地域整備促進協議会委員を12人から12人以内に要綱変更 ・遠賀町農業支援対策検討委員会委員を20人以内から15人以内に要綱変更			
	数値実績 または効果		・委員数12人⇒9人 ・委員数15人⇒11人			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 13 住民参加型のまちづくり

具体的取組		13-3 町事業の提案公募型事業への移行検討と既存事業の自立					重点
取組内容	町が実施している事務事業の中から住民等が主体となり得る事業をがんばる地域まちづくり事業の提案公募型事業への移行を検討することにより、主体的な住民参加型のまちづくりを行う。また、基金残高を見据えた既存事業の自立のあり方を検討する。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
①	がんばる地域まちづくり事業のあり方検討(7-1再掲)	●	●	○	→	→	協働人權係
期待する効果等	主体的な住民参加型のまちづくり、シビックプライドの醸成						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
取組状況	検討●	実施○					
① 取組実績 (内容)	限りある財源で最大の効果が得られるよう、今後のあり方(補助率や採点方法の見直し等)を検討	新たに要綱を制定した。補助上限額、採点方法の見直しのほか、行政提案型事業を創設した					
数値実績 または効果	実施事業:1件 要綱の見直し:R3 改正後の要綱で事業実施:R4	実施事業:0件(中止1件) 要綱の見直し:R3 改正後の要綱で事業実施:R4					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 14 地域コミュニティを核とした安心安全なまちづくり

具体的取組		14-1 防犯パトロール					重点	
取組内容		防犯パトロール等をはじめとする住民と行政が一体となって取り組む事業の継続により、住民の町政への参加を促進し、協働のまちづくりをすすめる。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 地域安全パトロールの実施		○	→	→	→	→		社会教育係
② 自治防犯組合によるパトロールの実施		○	→	→	→	→		防災安全係
③ 青パトロール車による防犯パトロールの実施		○	→	→	→	→		全課
期待する効果等		住民参加のまちづくり、犯罪の未然防止						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	実施○	進捗管理→					
	取組実績(内容)	新型コロナの影響で職員のみでパトロールを実施	学校の長期休み中に地域安全パトロール実施					
	数値実績または効果	実施回数:3回	地域安全パトロール8回					
②	取組状況	実施○	進捗管理→					
	取組実績(内容)	新型コロナの影響で未実施	新型コロナの影響で未実施					
	数値実績または効果							
③	取組状況	実施○	進捗管理→					
	取組実績(内容)	<社会教育係>新型コロナの影響で学校の休校中や夏休み期間中や登下校の時間帯に集中的に実施	<社会教育係>町内の不審者情報発生時に追加でパトロール実施					
	数値実績または効果	実施回数:157回	実施回数:4回					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 14 地域コミュニティを核とした安心安全なまちづくり

具体的取組		14-2 防災対策の充実					重点	★
取組内容	地域住民が自主的・継続的に自主防災活動を行い、災害による被害が軽減でき、誰もが地域で安心して暮らせるよう地域防災力を強化する。							
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 毎年全地区での防災訓練実施の継続	○	→	→	→	→		防災安全係	
期待する効果等	住民参加のまちづくり、地域防災力の強化							
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
取組状況	実施○	進捗管理→						
① 取組実績 (内容)	・新型コロナの影響で訓練未実施だが「防災啓発放送」を実施 ・町が助成し、防災士の資格取得を推進	・一斉避難訓練は未実施だが「防災啓発放送」を実施 ・町が助成し、防災士の資格取得を推進 ・ハザードマップ説明会を実施						
数値実績 または効果	・各家庭での備蓄品等を確認する事、防災意識の向上を図った ・町内在住、在勤者7名が資格を取得	・各家庭の備蓄品を確認する等、防災意識の向上を図った ・町内在住3名が資格を取得 ・8地区で実施						

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 15 多様な担い手の発掘と支援

具体的取組		15-1 地域活動に対する支援					重点	★
取組内容	地域の課題が多様化・高度化する中で、地域内での連携・協力によって課題解決ができるよう支援する。また、地域活動において多様な担い手を発掘・支援するための取り組みの推進と自治会加入者の減少などに対する加入促進対策等についても連携して取り組む。							
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 多様な担い手発掘の先進事例紹介	●	○	→	→	→		協働人権係 関係課	
② 自治会加入対策及び地域活動の先進事例紹介	●	○	→	→	→		庶務法制係	
③ 多様な担い手同士の連携・協力方策の検討	●	●	○	→	→		協働人権係 関係課	
期待する効果等	協働のまちづくり、地域コミュニティの強化							
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	実施○	進捗管理→					
	取組実績 (内容)	<社会教育係> 継続して活動しているボランティア団体へ助成制度を紹介	<社会教育係> 継続して活動しているボランティア団体へ助成制度を紹介 1団体 表彰推薦 2団体					
	数値実績 または効果	2団体が助成決定 助成額：680千円	1団体助成決定 助成額：290千円 1団体文部科学大臣 表彰受賞					
①	取組状況	実施○	進捗管理→					
	取組実績 (内容)	<福祉人権係> 町や地域に関わることを自分ごととして捉え、主体的にまちづくりや地域活動に参加する住民を増やすため、広報おんがに啓発記事を掲載	<協働人権係> 多様な担い手を発掘するため、積極的に地域活動に参画されている方にインタビュー等を行い、広報おんがに啓発記事を掲載					
	数値実績 または効果	啓発記事2回掲載 (男女共同参画特集、WISH)	啓発記事5回掲載 (男女共同参画特集、WISHほか)					
②	取組状況		実施○					
	取組実績 (内容)		地域住民が自治会活動へ主体的に参加するよう、広報おんがに啓発記事を掲載 また、住民課窓口において転入者へ自治会加入促進チラシを配布					
	数値実績 または効果		啓発記事1回掲載 転入者へのチラシ配布					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 15 多様な担い手の発掘と支援

	取組状況		実施○			
③	取組実績 (内容)		<協働人権係> 「地域はあなたの力を必要としている」をテーマに講座を実施。講座後半では実際に地域活動にご尽力いただいている方へのインタビューを行いながら参加者全員で地域活動について考える場とした。			
	数値実績 または効果		実施:1回			

具体的取組 15-2 出前講座の推進

重点

取組内容	町の事業や制度などを紹介し、住民の町政への理解や関心を深め、これからのまちづくりについて住民と一緒に考える出前講座の取り組みを継続する。また、住民ニーズの把握と内容の充実に努める。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 住民ニーズの把握と内容の充実		○	→	→	→	→	協働人権係
期待する効果等	協働のまちづくり						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	実施○	進捗管理→				
	取組実績 (内容)	各課においてメニューの見直しを実施	各課においてメニューの見直しを実施				
	数値実績 または効果	新規メニュー:2講座 開催数:5講座	新規メニュー:3講座 開催数:18講座				